

# オペラガラス

発行日 / 2009年1月23日(金)

編集・発行 厚木演劇鑑賞会運営委員会

〒243-0014 厚木市旭町 5-43-1 三橋パークビル 305

TEL/046(228)9325 FAX/046(228)9349

e-mail [atsugi-enkan@ga2.so-net.ne.jp](mailto:atsugi-enkan@ga2.so-net.ne.jp)

homepage <http://www.enkan.org>

## 謹賀新年



今年も厳しい年と言われています。が、「演劇は心のごはん」と言われています。私たちが会員は、今年も例会の舞台から感動や励ましをもらって、心豊かに生きていきたいものです。そして、会員の輪

がもっとと広がるように...



### 第129回例会 劇団NLT公演 『嫁も姑も皆幽霊』



作・演出 / 池田政之  
出演 / 音無美紀子・田村亮 他

さて、今年最初の例会は、「大人が楽しめる喜劇」をモットーに故三島由紀夫、賀原夏子らが昭和43年に結成した劇団NLTの『嫁も姑も皆幽霊』です。どこか懐かしい下町の「家族」の風景が舞台になっています。笑いの中に母と子、夫と妻、古くて新しい嫁姑問題と、家族の愛をテーマにしています。全国の演劇鑑賞会の会員が、大笑いし、そして最後には...。新春にふさわしい例会に乞うご期待！

『嫁も姑も皆幽霊』は、海老名市演鑑との合同例会で、会場は海老名市文化会館大ホールとなります。

海老名市文化会館は駐車場が狭いため、なるべくお車での来場はお控え下さい。尚、お車で来られた場合は、開演前に、大ホール入口脇の守衛室にて、駐車券の検札を行って下さい。検札を行わないと駐車場から出られません。

観劇日をお間違いない！

今回の例会は2日間になります。日時によって例会参加券の色が違いますので、注意下さい。

### 海老名市文化会館

海老名市上郷476 046-232-3231

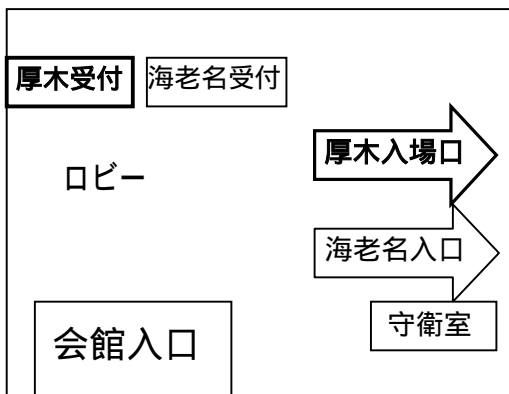


電車  
「小田急線海老名駅」「JR相模線海老名駅」「相鉄線海老名駅」徒歩5分  
お車  
なるべくお車のご来場はご遠慮下さい。

2月13日(金) 6時30分 ピンク色の参加券  
2月14日(土) 2時 オレンジ色の参加券

入場口・受付が、

厚木と海老名で分かります。



入場口・受付は上記のように、厚木と海老名で別れます。厚木の入場口、受付は左側になりますのでご注意ください。尚、厚木の座席は舞台に向かって中央から左側となります。

## 前回11月例会／劇団民藝＋無名塾公演 『ライビング・ミス・デイジー』のこぼれ話

運営サークルの皆様、ごくろうさま！

11月28日、29日の例会『ライビング・ミス・デイジー』は、厚木海老名合同で取り組みました。この公演は、2005年からスタートして全国を廻り、厚木は243公演目ということでした。

凛とした張りのある声 奈良岡さん素敵でした！  
人種的な偏見をもつ誇り高い老女デイジー 奈良岡朋子さんと、荒削りだけれど気持ちのやさしい黒人運転手のホーク仲代達矢との交流。日本を代表する新劇俳優であるお二人が、丁寧に隅々にまで気を配った舞台の緊張感と濃密な空間つくりには圧倒させられました。78歳の奈良岡さん、76歳の仲代さんが出ずっぱりともいえる舞台で発揮している役者パワーとオーラには、まさに脱帽です。

息子もいるのに、何故「ミス・デイジー」なのかしら？  
と思っていました。これは、「デイジーお嬢様」という親しみをこめた言い方なのだそうです。

民藝、無名塾の次代を担う、千葉茂さん（民藝）、長森雅人さん（無名塾）は、一日交替でブリー役として登場しました！

デイジーの息子ブリーは、衣装と今アース・スタイルを14回も取り替える早代わりなので、出演しない方が、介添え役にまわることで、民藝の千葉さんは、第114回例会「明石原人」で考古学者の夫役を好演された方、無名塾の長森さんは、第108回例会「いのちぼうにふるつ物語」で「厄い浪人」役で、会場を魅了していた方です。それぞれの持ち味で、母親と



妻に挟まれて、おろおろしながらも、愛情を持って母親を見守る息子役を暖かく演じていらっしゃいました。

12月は、奈良岡さん、仲代さん共にお誕生日！  
カーテンコールで、奈良岡さんが老女役から一転、赤いジャンパーに着替えカツラもとって颯爽と登場すると、客席からワーッと歓声があがりました。

29日には、開演前の舞台上で、スタッフキャストの皆様により、翌日12月1日が70代最後の誕生日となる奈良岡さんのサプライズなお祝いがありました。厚木、海老名からもフルーツをお贈りしました。もちろん仲代さんにも差し上げました。

今回の出演者へのプレゼントは、28日には、厚木から、かわい羊のカイロぬいぐるみの耐寒、保温、健康グッズを差し上げました。29日は、海老名から、ボージョレメーボアのワインが贈られました。



ひさびさの前例会クリアが来ました！  
この例会では、入会が18名、退会が7名で、11名の会員増となり、一年ぶりに前例会クリアを達成することができました。

今回の運営担当は29サークルで、顔合わせ会には23サークル延べ73名の参加がありました。9月16日の第1回目から、例会後のまとめ会までの計4回の顔合わせ会を取り組みました。第1回目の顔あわせでは、自己紹介や思い出に残った例会作品などを話し合っただけです。第2回目には座席割り、発送を行い、第3回目には、例会準備、会報セットなどを行いました。例会後の4回目には、欠席者への会報発送作業をしながら、運担や舞台の感

想交流を行いました。今回から午前の部も設けたところ、参加率もよく、サークルからの複数参加も増えてきているのは心強いことです。

また、今回は宣伝活動として、全公民館を廻って宣伝をお願いし、チラシマキ（三地区ノ森の里 鷹尾・毛利台）を行い、地元会員の皆さんにも参加してもらいました。残念ながら、すぐには会員増には結びつきませんでした。一緒に協力し合っただけで例會に取り組んでいく楽しさを実感することができました。

なぎさサークル／深澤

バックステージツアーに参加しました！  
例会2日目の29日。開場前の12時に運営サークルのみなさんが集合したところで、舞台装置などを見学する、バックステージツアーを行いました。

民藝の制作の方の軽快なトークに、皆さん熱心に耳を傾けています。ブリーのオフィスがくるっと回るとブリーの自宅になったり、車からちゃんとエンジンの音が聞こえたり、仕掛けがあちこちに仕込んであるのを間近で見るとは興味深いものです。また、実際に車に乗られた会員さんもいて、乗り心地を楽しんでいました。それに、ライトアップされると趣のある重厚な壁が、実は樹脂の軽いものでできているのも、触ってみなければわからない素材感でした。初日に観劇した方は納得の表情、これから観劇する方は期待に目を輝かせて舞台を下りたのでした。

こつた取り組みも、劇団の協力あつてのものです。また、運営サークルに参加してこのような体験ができるのが、えんかんの良さと実感しました。

（愛サークル／加納）

